

新学年に進級するにあたって

— 1, 2年生の皆さんに考えてほしいこと —

2月に行われた2年生対象の四者懇談では、保護者の方にも来校いただきありがとうございました。一人について45分かけて、学校生活や進路の希望について、2年生の皆さんに話を聞かせてもらいました。その時に気になった点を、以下に記します。2年生のみならず、1年生の皆さんも参考にしてもらえればと思います。

① 自分の欠席日数を覚えていない。欠席の理由が言えない。

企業に就職するとき、面接で必ずチェックされるのが欠席日数です。学校から企業へお渡しする調査書には、欠席日数がすべて書かれているので、ウソは通用しません。1年間で、2日～3日の欠席日数でも、なぜ欠席したのか理由をはっきり言えるようにしておきましょう。まして、5日以上になれば、理由を言えるのは当然のことですが、同じ理由で休まなくて済むようにどう対処しているか説明できるようにして下さい。そして、新学年では、欠席日数が減るように努力をしてください。



② 自分の長所が言えない。言えても、内容が薄い。

また面接で必ず聞かれるのが、「あなたの長所を教えてください」という質問です。面接で緊張して忘れてしまうこともあるので、自分の長所は3つぐらい言うようにしておくと、緊張した場面で何も言えないということは避けられると思います。また、長所が「挨拶ができます」「人に優しくできます」「明るくクラスのムードメーカーです」などを挙げる人がいますが、3つ長所を挙げるとしたら、1つは作業面での自分の強みを言えるようにしましょう。



作業面での強味というのは、「〇時間ぐらいの立ち作業は、集中してできます」「手先を使う細かな作業が得意です」「不良品が出たときは自分から報告できます」など、普段の職業実習の授業でも、気を付けなければならないこととして指導を受けているようなことです。授業の度に先生からほめてもらったこと、日誌で良い点としてコメントしてもらったことを、普段から意識し、さらに伸ばしたりしていますか。得意なことを増やすなどの努力をしていますか。そんな人は、長所を言うときに、作業面での強みも言えると思います。